

大都市圏コミュニティ(関係人口)による塩飽本島での地域課題解決事業

<丸亀市塩飽本島地域における活動実績 概要>

都市圏関係人口創出プロジェクト【都市圏交流イベントの開催】

大阪で「交流」をメインにしたイベントを開催(13名参加)。本イベントを通じて、下記のツアーへの参加を促した。また、ツアー参加者に対しても事前レクをオンラインで実施。



本島・都市圏ブリッジプロジェクト【本島ブラッシュアップツアーの開催】

塩飽本島に3日間滞在し、塩飽本島の地域課題解決するブートキャンプを開催。参加者9名を3名/組のチームに分かれて、事務局側が用意したプログラムと自由時間を設けて、最終日に発表する3日間としました。



<実施体制図>



<参画した関係人口の報告>

参画した関係人口:21名

<事業における役割>

本事業においては、塩飽本島の魅力を高めるブラッシュアップツアーに参加してもらい、具体的な提案をしてもらう役割を担っていただいた。さらに、その関係人口が都市圏の友人・職場の知人に体験をシェアし、潜在的な関係人口の掘り起こしを担う役割も担っていただいた。

<事業終了後の展望>

①「塩飽水軍祭実行委員会」の実施

今回の事業で提案された「塩飽水軍祭」を開催し、知り合いの知り合いが来て、また知り合いが来るという好循環に繋げていきたいと考えています。

②塩飽本島サポーターズ制度の整備

都市圏の社会人が第2のふるさととして感じられるような住民票的な制度を整えていきたいと考えています。塩飽本島の海産物や会報が届くような仕組みを想定しています。

<事業成果：設定した地域課題へのアプローチ>

【課題①：地域課題に取り組む主体（人材）の減少】

本事業の直接参加者は9名であり、参加者の多くは20代。今回の事業を通して、塩飽本島に関心を持ってもらい、都市圏にいながら塩飽本島でイベントを実施したいという提案に。具体的には、「塩飽水軍祭実行委員会（以下、実行委員会）」が発足。本事業の参加者9名が直接プロジェクトメンバーに。

【課題②：基幹産業である水産業の衰退】

本事業の参加者の中に、東京駅での地産アンテナショップ（アナザー・ジャパンプロジェクト）の店長がおり、今後も関わっていく。マーケットインの考え方で加工品をどのように製作すれば良いのか連携する。